

令和7年度 地元向け現地説明会資料（2025.10.11）

植物園北遺跡

調査期間：令和7年9月1日（月）～ 10月31日（金）予定

調査機関：京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化財保護課



1 発掘調査について

調査地は北区上賀茂岡本町に所在し、神坂山の南山裾に位置します。ここは周知の埋蔵文化財包蔵地「植物園北遺跡」に該当し、国指定天然記念物「大田ノ沢のカキツバタ群落」を有する大田神社の東隣にあたります。

調査地周辺は、賀茂別雷神社に仕える神官や農民が集住する地区として知られ、一部は重要伝統的建造物群保存地区に選定されています（図1）。18世紀の調査地周辺を描いた「賀茂山全図」に描かれた道は、調査地の南側を東西方向に走る府道103号線をはじめとした現在の道路と概ね一致します。調査地周辺の町なみは、室町時代に成立するとされる「社家町」の雰囲気而今に伝えています（図2）。

この場所で住宅建設が計画され、文化財保護法第93条に基づく届出が提出されました。これを受け、埋蔵文化財の状況確認のため試掘調査を実施したところ、遺構の存在を確認したため発掘調査を実施することとなりました。

2 周辺の調査状況

調査地周辺の発掘調査では、弥生時代以降の遺構群を多数確認しており、先史時代から人々が集住した土地であったことがわかっています。調査1では、弥生～平安時代の建物跡のほかに、鎌倉時代の井戸や室町時代の溝が確認されました。この溝は、賀茂別雷神社文書に見える文明年間（1469～1487）の「構」である可能性があります。また、調査2では、室町時代の整地土を確認しました。この整地は大規模なもので、社家町を形成するために多大な労力が費やされていたことがわかります。調査3では古墳時代の建物跡、調査4では鎌倉～室町時代の遺構・遺物が確認されており、現代に続く「社

家町」の形成過程が、発掘調査成果から少しずつわかってきています。

3 調査成果の概要

調査地は、北の山裾から南に向けて傾斜する土地です。相対的に低い調査区の南半では、地山の上に黒褐色粘質土などを盛土（整地）し、平坦面が造り出されています（図4）。北半では地山上面で、南半では整地土上面で室町～江戸時代の遺構を多く検出しました。

最も多く検出した遺構は、ピットです。径0.2～0.4m、深さ0.1～0.4mのものが大半です。中には上面が平らな石を据えているものもあり、石が地上に露出しているもの（写真3）と、完全に埋め込まれているものを確認しました。これらの中には等間隔に並ぶものがあり、建物や柵を構成した柱穴と見られます。その数の多さから、幾度も建て替えられたことがわかります。

調査区の西側では、石が詰まった土坑を検出しました。土坑225（図4）は、東西1.7m、南北1.3mの楕円形をしています。中には径15cmほどの石が多数詰まっています。石材は周辺で採取できるチャートが大半です。

土坑174（図4）は、径1.0mほどの円形をしています。中には多量の土師器皿と径10cmほどの石が詰まっています。石が円形の枠状に並ぶ様子が確認できるため、石組井戸と考えられます。中からは江戸時代後半ごろの遺物が多く出土しました。特に多く出土した土師器皿は神事・催事に用いられたものと見られます。付近で神事・催事が行われた後、用いられなくなった井戸にまとめて投棄したものと考えられます。

土坑174以外の遺構からは、いずれも室町時代の遺物が出土しています。出土遺物の多くは日常生活に使われる土師器皿ですが、明（中国）からの輸入陶磁器なども見られます。

4 まとめ

今回の調査で特筆される成果は、①室町時代に行われた大規模な整地を確認したこと、②同時期の柱穴や土坑など多数の遺構を検出したことの2点が挙げられます。前者は周辺でも見られる、室町時代の土地造成事例の新事例と言えます。後者は、造成された土地で人が活発に活動したことを示します。室町時代における社家町の形成過程を考えるうえで、貴重な成果が挙げられました。

なお、今回の調査では土坑174と中央北側の土坑254以外に、江戸時代の遺構が確認できません。室

町時代には活発に土地利用がされていたのが、江戸時代に入ると突然活動が低調になるようです。理由は不明ですが、そのおかげで室町時代の遺構が良好に保存されていたと言えるでしょう。また、江戸時代後半の神事・催事に用いられる遺物が多く出土した土坑174は、調査地の「社家町」としての性格を色濃く示していると言えます。

なお、調査区北半で検出した多数の溝は、南に延びるとその延長を検出できなくなります。部分的に整地土を掘って確認したところ、どうやら整地土の下に続いているようです。今後、整地土を取り除きその下に眠っている遺構の調査を進めていきます。

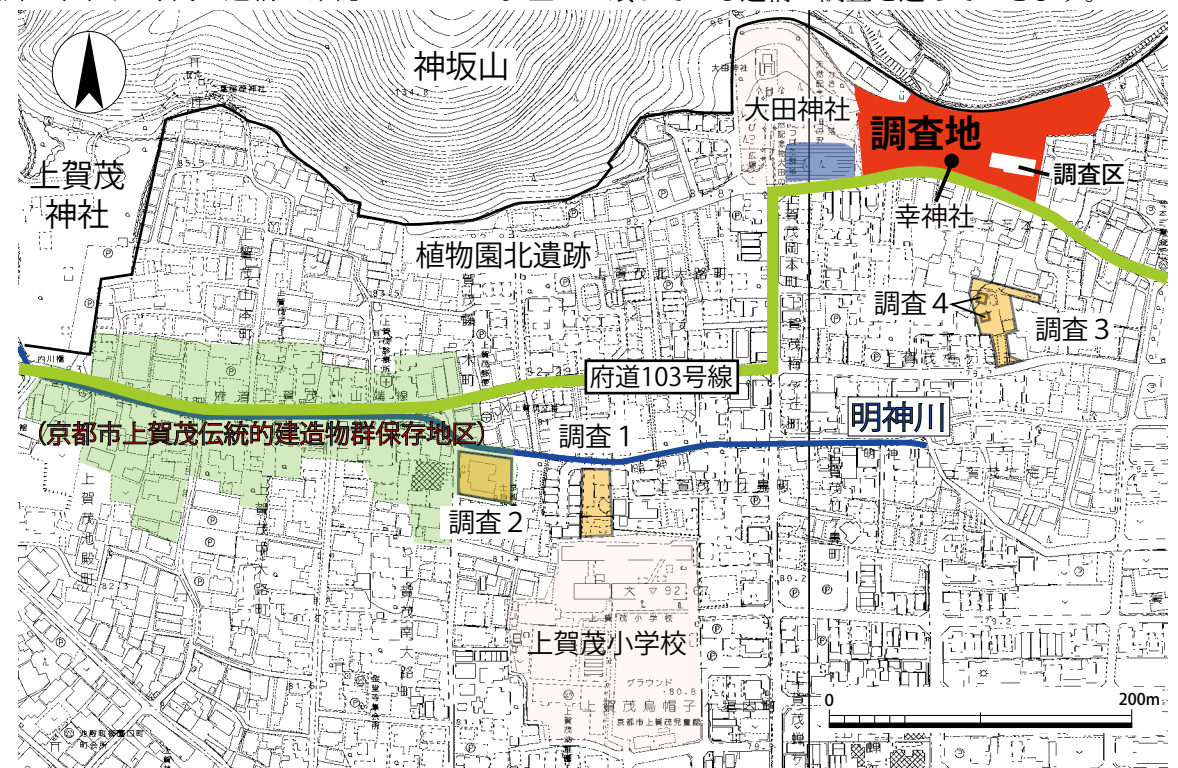


図1 調査地と周辺調査状況（1/5,000）



図2 賀茂山全図（上賀茂神社蔵） 調査地付近抜粋
賀茂別雷神社史料編纂会『賀茂別雷神社史料 絵図』、2019年より引用



写真3 検出した柱穴と礎石（左から柱穴155・156、北から）

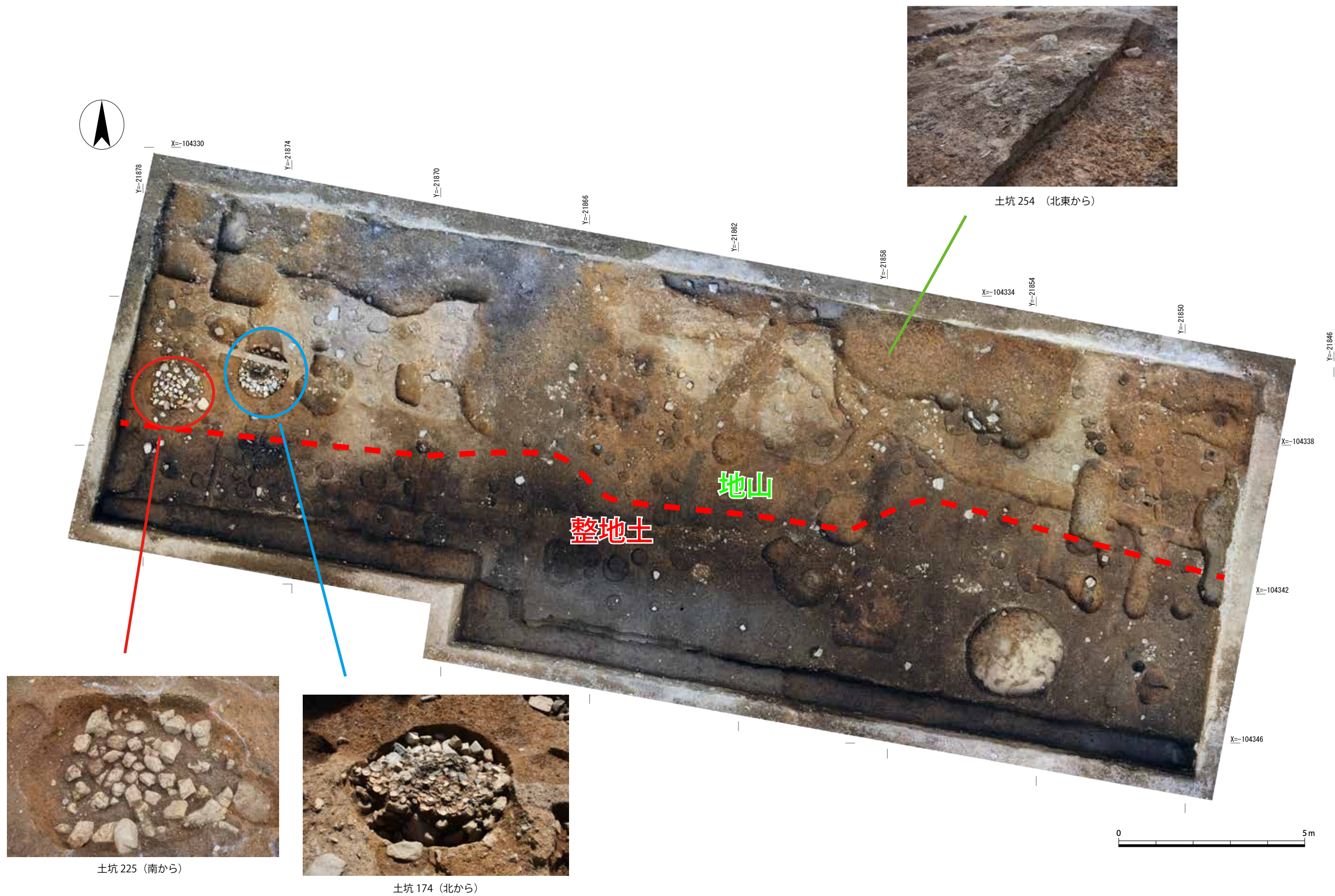


図4 調査区オルソ測量図 (1/100)